

進路だより

第3号
令和2年3月19日
編集発行
いわき光洋高校
進路指導部

今年の進路を振り返る

進路指導部 安島 浩



先日の卒業式で17生が巣立っていきましました。自分たちの目指す進路に立ち向かった17生の戦いの跡を振り返っていきましょう。

四年制大学の合格者は延べで124名、そのうち国公立大学合格者は12名で、まずはその人たちの努力を讃えたいと思います。その中でも、新潟県立大学人間生

新年度を迎えるに当たって、ノートの作り方をもう一度見直してみましよう。

【予習からノートを作る】

皆さんは予習の段階でしっかりノ

トを作っているでしょうか？英語や古典の本文を写すだけが予習ではありません。

活学部や都留文科大文学部の例のように、自分の得意な分野で推薦入試に挑戦し、合格を決めた人が見られました。公立大学には特定の教科や分野に力を入れた対策が取れるところが多くあります。後輩の皆さんも大いに参考にしてください。

そのノート大丈夫？

目的の文章や問題・表やグラフを自分でどう理解するか、その方法を組み立てる

上りませんが、その内、AO・指定校推薦・公募推薦による合格は94名を占めます。これらAO・推薦入試において例年見られるのが、例えばプレゼンテーションに自力では太刀打ちできず、先生頼みにして出願する生徒です。先生たちは力を貸します。しかし完成したものが指導した先生の作品となってしまうてはいけません。大まかに言っ

ことが予習であり、その一つのステップが単語調べや品詞分解です。数学の例題

も自分の頭で理解しながら解いていき、手を使って書いていけば、授業での理解が深まり自信も付きます。

【査考対策を考えたノート】

皆さんのノートは授業の板書を写すだけ

て対策に相当な時間を費やすものと思ってください。合格を早く決めたい人は、大学のレベル、募集人数と試験内容をよく検討する必要があります。

志望理由書や事前提出の小論文もそうです。なぜその学科なのか？目指す職業は社会的に認知されているのか？経済的に自立できるのか？といったことに対してしっかりと自分の考えがそのまま文章を書いてくる生徒が毎年見られます。保護者の方や担任の先生に自分から相談を持ちかけ、きっちり自分の考えを詰めていってほしいもの

けに終わってませんか？問題はその後でか？地歴で重要語句と説明を一問一答形式で整理しておく、意味が分からなかった英単語・熟語を書き出しておくなど、復習をその後の考查や入試本番に生かせるよう工夫しましょう。

です。

看護専門学校へも、本校では毎年10名以上が進学しています。形態としては「院長推薦」と言つて、大きな総合病院に将来勤める約束で奨学金を借り、看護専門学校合格と卒業後の確実な就職を見越した形を取るケースが多く、これは今後も増えていくでしょう。

就職では、いわき市役所の他に、日本郵便・東京電力ホールディングス・JR東日本といった社会的にもよく認知された事業所に手堅く内定を決めてくれました。ただ、今、特に民間企業は人手不足

と言われていますが、これがずっと続くとは思えません。加えて大企業ほど入社後のコミュニケーション力・調整力が求められる。実はそういった力こそ、一朝一夕に身に付けることが難しいもので、ペーパーテストでは計れない総合的な力です。就職希望の人

ほど幅広い知識に加えて経験の積み、教養を高めましょう。前期選抜や新型コロナウイルスの影響で登校できない三月、この時間をどう生かすかは皆さん次第で

「センター最後で実績を伸ばせるか」「センター最後で浪人はさせられない」生徒も何となく感じていたのかもしれない。その現われが、例年になく増えたAOや推薦の受験状況である。一般入試に不安を持つ（学力に不安？）多くの生徒が早めに動いた。

年次独自の工夫と言え、自主学習合宿である。「学習合宿？やっても」という声もあったが、1・2年の春休みに実施した。「勉強させる」式の合宿ではなく、自分たちで課題を持ち込みひたすら机に向かうだけ。私たちは質問する生

徒に対応するのみ。初めは睡魔に襲われた生徒も半日すると、驚いたことに全員が黙々と机に向かっていた。予備校講師や卒業生の講話などもあり、学習に対する精神面の強化になったと思う。

この参加者の中から国公立大に挑戦し合格した者も少なくない。個別指導に加え、勉強も一体感があると「One Team」として一般試験にも立ち向かえるのではないかな。



三年間を振り返って

17年次主任 志賀 久敏



高校卒業時の進路は、その後の職業や生活の場所、自分や家族の経済力など、多くの面に影響することをよく考えて日々を過ごしてほしいものです。



年次主任より



標に向かつてエンジンがかかってきました。

18生は、大学入学共通テスト初年度の生徒として、入学当初からさまざまな対策を続けてきましたが、変更になる度に、その都度対応を強いられました。しかし、根本は変わりません。

『みんなで頑張る』

18年次主任 高橋 利江

年末から、小論文に取り組み、志望理由書の書き方やプレゼンテーションを学び、進路について学びを深めていくうちに、自分と向き合い悩みながらも、いよいよ具体化された目

いと思います。来年度に望む進路で有意義な学生生活を送るために、今しっかりと自分に準備をさせましょう。



『力をためる』

19年次主任 村上 誠

暖かい日差しの中での入学式からあつという間の時間が過ぎ、光洋高校での1年目の生活が終わろうとしています。憧れて入学した光洋高校での1年間。19生の君たちはどのように生活してきただろうか？光洋高校のノウハウを学ぶスタートアップセミナーから始まり、高校最初の定期考査。進路も確定していないままの文理選択を迫られ、難易度も高い模擬試験を受けたりと目まぐるしい1学期を経て、2学期、3学期とだいが光洋生として板に付いてきたように思えます。

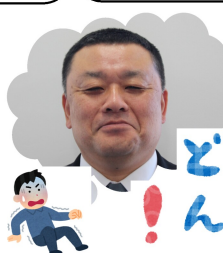
そんな日々の学校生活を送る中で、光洋高校に入学することで目的が達成

したと思われ人が多く非常に残念。君たちの目標は光洋高校で楽しい学校生活を送ることなのだろうか？力をためて次のステップに上がるための基礎を作ることが目標です。『力をためる』とは実は将棋用語の一つ。すぐには攻め込まず、攻め駒を補強しておくこと。当然、力をためてから攻めた方が、破壊力がある訳ですよ。大学入試は近年大きな

変革をむかえ、本当の力がないと太刀打ちできない時代に突入しました。大きな分厚い壁をぶっ壊し自分の夢を叶えるためには、確実に力をためていくことが必要です。19生の君たちには自分の夢を叶えられるようその破壊力を発揮してもらいたい。



今回のマイハイスクールデイズは、泣く子も黙るあの方、深谷誠教頭先生です。



案内役は私たち



では今回も行つてみよう。今回は重い。重たい。光本人を前にしてさーゆーこと言わないの。さつそくですが、教頭先生の高校時代はどんな毎日でしたか？

深一年生→部活とヤマニ書店での立ち読みに励み勉強せず、

二年生→勉強を理由に部活をやめるも、前半全く勉強せず、三年生→二年間の高校生活を猛烈に後悔しつつ、仕方なしに勉強する、そんな高校生活でした。光その中で思い出やエピソードなどあります。深三年生になり、勉強しても基礎ができていないので、最初はまったく分からず、数学の問題を解きながら、自然と涙と鼻水が出てきましたね。それでも、先生や友人に助けてもらいながらあきらめ悪く勉強したら、最後の模試の合否判定がDで記念受験した大学に合格しました。光そんな先生が高校卒業後の具体的な進路を考えたのはいつ頃ですか？



光教頭先生というお立場って、やっぱり大変なんですよね、早く帰ってほしいです。



て家族と夕食が食べたんです。深それでは最後に、これから進路に挑む生徒たちにメッセージをお願いします。深高校を卒業した後、高校時代より楽しく充実した生活が送れるのは、精一杯伸ばした手が届いたところで生活している人だけです。中途半端な妥協の先に明るい未来はありません。みんながみんな難関大学に入れるわけでも一流企業に就職できるわけでもありません。しかし、最後まであきらめず挑戦を続けてたどり着いたところだけが「本当に行きたかった場所」になるはずですよ。頑張ってください！



深教頭先生は、何だか全体的に四角いな。顔は将棋の駒だ。光失礼なこと言わないの！教頭先生、お忙しいところありがとうございませう！